



横浜市立相沢小学校

学校だより

5月号

R元. 5. 7

支え合う喜び

校長 海老澤 孝代

まちの木々が一斉に新緑の芽を吹き、フジやパンジー、ツツジ・・・様々な花が咲き誇り、私たちの目を楽しませてくれています。登校指導していると「校長先生。これを見て。ぼくが捕まえたんだ。」と得意そうにカエルを見せてくれる子がいました。教室では4年生が、オタマジャクシの観察をしていました。これからは生き物が盛んに活動を始める季節になり、学校では植物の栽培や生き物の飼育・観察が始まります。

新しい仲間と共にスタートし、一か月が経ちました。特に1年生にとっては、大きな環境の変化だったことでしょう。周りの大人や友達、とりわけ6年生に声をかけてもらいながら、一生懸命取り組んでいる姿がありました。どの学年の子どもたちにも、この一か月間は新しい環境の中で、それぞれに乗り越えることがあったに違いありません。一人ひとりに「よくがんばっているね。」と伝えたいと思います。

相沢小学校では、ペア学年（1・6年、2・5年、3・4年）や異学年交流、中学生とのクラブ活動交流など、ピア・サポート・プログラムに取り組んでいます。ピアとは仲間を意味しています。子ども同士の関わり合いや育ち合う場をつくり、体験的な活動を通して互いに支え合い、自己有用感を育てたいと考えています。先日1・2年生の学校探検がありました。すっかりお兄さんお姉さんになった2年生が、優しく手を取り一生懸命説明していました。また、6年生は、朝の学習準備や給食、掃除などでお世話活動を行っています。6年生は、どんなことをしたら喜んでくれるか、どのように教えたなら分かってもらえるかなど、1年生が安心して楽しく学校生活を送ることを一番に考えて、計画を立て活動しています。1年生と関わることで6年生も大きく成長していきます。初めはどのように声をかけたらいいのか分からず戸惑う場面も見られますが、1年生が頼りにしていくにしたがって、自分を必要としてくれていることに喜びをもち、どの子も自信をもっていくようになります。この取組は相沢小学校の伝統として、受け継がれてきたものです。

令和元年となり新しい時代が始まりました。「人々が美しく心寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている」と伝えられています。一人ひとりが目標や夢に向かい、そしてお互いに支え合いながらそれぞれの花を大きく開かせ実を結ぶことができるように、子どもたちを見守りいただければ幸いです。そして私たちもその姿を見とり、喜べる時代であってほしいと願います。



学びあい 認めあい 支えあい
夢をはぐくむ あいざわっ子